

ユニットプライス積算

維持修繕工事にも適用

国交省 来年度試行へデータ収集

国土交通省は来年度から、歩掛かりを用いずに工事費を積算する「ユニットプライス型積算方式」を、維持・修繕工事（道路維持、道路修繕、河川維持、河川修繕）にも適用する。来年度の試行着手に向け、同方式で積算して工事を発注するのに必要なデータ収集を開始した。同方式は既に、道路舗装、築堤・護岸、道路改良の3工種で全面的に実施中。発注件数ベースで25%を占める維持・修繕工事が加わることで、同省発注工事の約4分の3（件数ベース）に、ユニットプライス型積算方式が適用されることになる。

全発注件数の4分の3に

ユニットプライス型積算を積み上げる従来の「直接積算」に反映される算方式は、歩掛かりに基き算方式とは異なり、受注仕組み。ついで労働単価や資材単価の取引価格そのものが、政府の公共事業コスト

構造改革プログラムに位置づけられている施策の一つで、契約件数の多い工種から適用することとし、04年12月に道路舗装、06年2月に築堤・護岸、

道路改良の2工種について、試行を開始。道路舗装は06年度から、築堤・護岸、道路改良の2工種は07年度から全面的に実施している。

同省は08年度以降、維持修繕工事に際して他の工種でも新たにユニットプライス型積算方式を試行する準備に取りかかる方針だ。

ユニットプライス型積算方式は、設計変更が容易になるほか、積算価格の妥当性や市場価格との連動性の向上、工事目的物と価格との関係の明確化、契約上の協議の円滑化、積算の透明性向上や積算業務の効率化といった効果も見込めるとされる。発注者側が積算時に標準工率を想定しないため、受注者側の技術力の活用促進につながる。契約された工事を対象に

見になるほか、積算価格の妥当性や市場価格との連動性の向上、工事目的物と価格との関係の明確化、契約上の協議の円滑化、積算の透明性向上や積算業務の効率化といった効果も見込めるとされる。発注者側が積算時に標準工率を想定しないため、受注者側の技術力の活用促進につながる。契約された工事を対象に

コスト構造改革で新計画

国土交通省の建設コスト削減委員会（委員長・三原孝雄）が、コスト構造改革プログラムを07年度から実施する。同省は08年度以降、維持修繕工事に際して他の工種でも新たにユニットプライス型積算方式を試行する準備に取りかかる方針だ。

国土交通省の建設コスト削減委員会（委員長・三原孝雄）が、コスト構造改革プログラムを07年度から実施する。同省は08年度以降、維持修繕工事に際して他の工種でも新たにユニットプライス型積算方式を試行する準備に取りかかる方針だ。

国土交通省の建設コスト削減委員会（委員長・三原孝雄）が、コスト構造改革プログラムを07年度から実施する。同省は08年度以降、維持修繕工事に際して他の工種でも新たにユニットプライス型積算方式を試行する準備に取りかかる方針だ。

国土交通省の建設コスト削減委員会（委員長・三原孝雄）が、コスト構造改革プログラムを07年度から実施する。同省は08年度以降、維持修繕工事に際して他の工種でも新たにユニットプライス型積算方式を試行する準備に取りかかる方針だ。